

森林の仕事ガイダンスは、「緑の雇用」現場技能者育成対策事業の実施主体である全国森林組合連合会が、新たな林業の担い手の確保・育成の取組として行っている就業相談会。「緑の雇用」事業を通して、平成15年度から平成24年度までの10年間に約1万4千人が新たに林業に就業しています。

今年は昨年までの東京・大阪に名古屋を加えた3都市で開催されました。

会場では、各地の林業に関する情報や林業作業の内容や就業までの流れについての説明や相談が行われたほか、ハローワークの協力によって幅広い就業情報の提供が行われました。

もり 森林の仕事 ガイダンス2015

1月31日(土)、東京国際フォーラムで森林・林業に関心を持つ人を対象とした林業に就業するための流れや林業の仕事内容、生活・暮らしなどを紹介する就業相談会「森林の仕事ガイダンス2015」が開催されました。



■オリエンテーションコーナー

大型モニターを使って、日本の林業の現状や「緑の雇用」事業、林業への就業の流れなどについて説明が行われました。



■全国森林組合連合会相談ブース

林業の基礎から林業に就業するための方法、就業後の仕事内容など、林業に関する総合的な相談が行われました。

【参加者の声・29歳男性】

ずっと興味を持っていた林業について、疑問や就業に関する不安に応じて貰いました。30歳を機に転職を具体的に考えたいと思います。



■緑の研修生交流ブース

「緑の雇用」事業の研修生たちが、林業に就業するまでや就業後の生活などの質問に、実体験を基に答えました。

【参加者の声・40歳男性】

同じ40歳の研修生が頑張っているという話を聞くことができ、自分も森林の仕事に携わりたいと思いました。



■都道府県相談ブース

各都道府県の担当者が、各地域の林業の特色や求人情報の提供、移住に関する相談に応じました。

【参加者の声・21歳女性】

今日は静岡からやってきました。いろんな地方の求人情報や物価・家賃などの生活情報を知ることができ、将来を考えるための参考になりました。



■ステージイベント

「緑の研修生トークショー」

トークショーでは、実際に現場で働く研修生が仕事の内容や生活・暮らしについて語りました。

【緑の研修生から】

緑の研修生3年目の伊藤大輝さん(右)と2年目の北原健太郎さん(左)伊藤さん「林業は実際にやってみることで、もっと面白さがわかる仕事。毎日、技術が身についていき、やりがいを感じます」

北原さん「興味を持っているなら、とにかく実際にやってみるのが一番。一緒に頑張りたいですよ」



主催者から

全国森林組合連合会 担い手・雇用対策部

部長 菊地 英晃さん

今回、東京会場で1,145人、大阪会場で655人、名古屋会場で332人の方からの相談を受け付けました。

高性能林業機械の導入に伴って林業の姿も変わり、女性にも働きやすい環境づくりが進んでいます。今回開催された大都市圏ガイダンスのほかに、全国の林業労働力確保支援センターや森林組合連合会の主催によるエリアガイダンスが各地で開催されていますので、ぜひ林業についての理解を深め、就業を考える機会としてください。



森林の仕事ガイダンスおよび緑の雇用についての詳細は、「緑の雇用」ウェブサイトRINGYOU.NETをご覧ください。

<http://www.ringyou.net/>